



▲『アサギマダラひとやすみの里』の整備



▲『夏まつり』の流しそうめん

地域の話題

# 六連校区

## 人と豊かな自然が

## 織り成す故郷

豊かな自然環境に恵まれ、人情に厚く、人と人との結びつきが強い六連コミュニティ協議会から、お便りが届きました。



### 田

原市の南東に位置し、南は勇壮な太平洋を望み、広大な農地が広がる六連校区。「地域の資源を保全し、魅力あふれる地域」「お互いが温かく支えあう地域」を目指し、さまざまな活動を行っています。

### 住民に愛される『夏まつり』

8月12日(日)に、「夜店」「地元有志による流しそうめん」「盆踊り」など、内容盛りだくさんの『夏まつり』を行い、大勢の人でにぎわいました。

盆踊りのやぐらでは、有志による太鼓クラブや六連小学校6年生が太鼓をたたき、まつりを盛り上げました。

また、校区内にある福寿園(民間の老人福祉施設)からも、毎年恒例で入所者が参加しており、今年も約50名が地域の人たちと一緒にまつりを

楽しみました。

六連校区の住民も、福寿園が開催する行事に招待されるなど、相互に交流を深めています。



▲やぐらの上で太鼓をたたく六連小児童

### うちわで啓発「青少年健全育成」

この夏まつりでは、6月にコミュニティ協議会が小学生とその保護者などの校区民を対象に募集した「青少年健全育成に関する標語」の優秀作品受賞者の表彰を行いました。

優秀作品の標語は、うちわに印刷して校区内の全戸に配布し、青少年健全育成の啓発に活用しています。



▲標語を印刷したうちわ

### 豊かな自然環境を活用

日本列島内や東南アジアまで千数百kmを移動することで有名なチョウ「アサギマダラ」。渥美半島は、そのチョウが通る飛行ルートで、毎年10月ごろに見ることが出来ます。

地元住民の有志などでつくる『むつれ虫の会』では、アサギマダラが移動途中で休憩できるように、表浜海岸近くの道路脇の草を刈ったり、チョウが好むフジバカマの苗を植えたりするなど『アサギマダラひとやすみの里』として、環境整備をしています。

今年の秋には、昨年植えたフジバカマが花を咲かせ、アサギマダラが吸蜜する姿を観察できると期待しています。

### いつまでも引き継いでいきたい

これからも、温かな人と人とのつながりや、すばらしい自然環境を次世代に引き継ぐことができますよう、地域づくりに取り組んでいきます。